



光と空気と水を生かす
Always With You

第87期 中間事業報告書

平成27年4月1日 ~ 平成27年9月30日



代表取締役会長
兼最高経営責任者 (CEO)

菅谷 節



代表取締役社長執行役員
兼最高執行責任者 (COO)

北野 晶平

株主の皆さまには、
日頃より格別のご高配を賜り
ありがたく厚くお礼申しあげます。
さて、第87期第2四半期連結累計期間
(平成27年4月1日～平成27年9月30日)における
事業の概要についてご報告申しあげます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、良好な企業収益や個人消費に持ち直しの兆しが見られた一方、中国の景気減速に対する懸念から、大規模な世界同時株安の影響を受けるなど、不安定な状態が続きました。

建設業界におきましては、企業収益の改善に伴い、景気的好循環が作動しはじめるなかで、民間設備投資が本格回復すると期待されましたが、底堅くは推移するものの、力強さには欠けるものとなりました。

このような状況のもと、中期経営計画「新たな時代にチャレンジするダイダン」に基づき、受注と利益の確保に取り組んでまいりました結果、当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりとなりました。

受注工事高719億68百万円、完成工事高612億35百万円、経常利益25億35百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益15億72百万円となりました。

中間配当につきましては、既に公表しておりますように、1株当たり9円とさせていただきます。

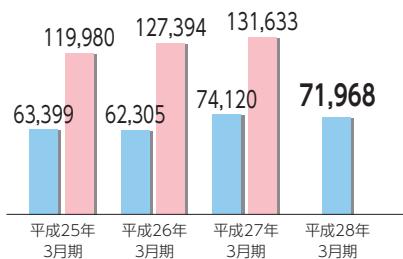
当社は、「総合設備工事業者として常に新たな価値の創造に挑戦し、より良い地球環境の実現と社会の発展に貢献する」を経営理念に掲げ、人々がより安全で快適に暮らせる環境を提供し続けることが、責務であると考えております。

今後とも、株主の皆さまの一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

連結財務ハイライト

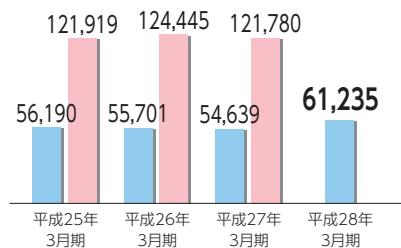
■ 受注工事高

■ 上期 ■ 通期 (百万円)



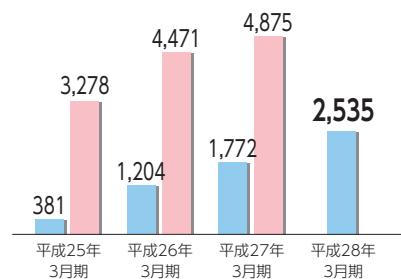
■ 完成工事高

■ 上期 ■ 通期 (百万円)



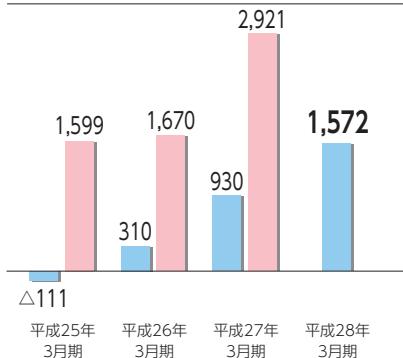
■ 経常利益

■ 上期 ■ 通期 (百万円)



■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益

■ 上期 ■ 通期 (百万円)



■ 総資産・純資産・自己資本比率

■ 総資産 ■ 純資産 (百万円) ● 自己資本比率 (%)



■ 1株当たり純資産額

(円)



※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純損益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益」としており、前連結会計年度までの四半期(当期)純損益についても科目名を統一しております。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度末 (平成27年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (平成27年9月30日現在)
【資産の部】		
流動資産		
現金及び預金	24,385	21,486
受取手形・完成工事未収入金	52,802	52,409
未成工事支出金	424	1,067
材料貯蔵品	0	0
繰延税金資産	1,278	901
その他	1,945	2,040
貸倒引当金	△ 5	△ 5
流動資産合計	80,831	77,899
固定資産		
有形固定資産	3,919	3,955
無形固定資産	156	207
投資その他の資産		
投資有価証券	17,494	16,675
繰延税金資産	1	1
退職給付に係る資産	9,633	9,910
その他	1,595	1,601
貸倒引当金	△ 190	△ 188
投資その他の資産合計	28,533	28,000
固定資産合計	32,609	32,163
資産合計	113,440	110,063

科 目	前連結会計年度末 (平成27年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (平成27年9月30日現在)
【負債の部】		
流動負債		
支払手形・工事未払金	37,937	33,960
短期借入金	4,379	4,735
未払法人税等	990	480
未成工事受入金	1,500	1,718
賞与引当金	—	1,625
役員賞与引当金	—	35
完成工事補償引当金	85	84
工事損失引当金	480	378
独占禁止法関連損失引当金	390	342
環境対策引当金	—	2
その他	6,550	5,687
流動負債合計	52,312	49,052
固定負債		
長期借入金	1,583	1,251
繰延税金負債	4,237	4,139
退職給付に係る負債	1,377	1,313
環境対策引当金	107	—
海外投資損失引当金	6	9
長期未払金	352	303
その他	0	0
固定負債合計	7,665	7,017
負債合計	59,978	56,070
【純資産の部】		
株主資本		
資本金	4,479	4,479
資本剰余金	4,809	4,809
利益剰余金	36,186	37,313
自己株式	△ 669	△ 672
株主資本合計	44,807	45,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,797	6,258
為替換算調整勘定	39	37
退職給付に係る調整累計額	1,592	1,531
その他の包括利益累計額合計	8,429	7,826
非支配株主持分	225	236
純資産合計	53,462	53,993
負債・純資産合計	113,440	110,063

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第1四半期連結会計期間より、「少数株主持分」を「非支配株主持分」としております。

POINT 四半期連結貸借対照表

流動資産は77,899百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,931百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少(2,899百万円)及び受取手形・完成工事未収入金の減少(392百万円)等が、未成工事支出金の増加(643百万円)等を上回ったことによるものです。

固定資産は32,163百万円となり、前連結会計年度末に比べ445百万円減少いたしました。主な要因は投資有価証券の減少(818百万円)等が、退職給付に係る資産の増加(277百万円)等を上回ったことによるものです。

流動負債は49,052百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,260百万円減少

いたしました。主な要因は、支払手形・工事未払金の減少(3,976百万円)、未払法人税等の減少(509百万円)等によるものです。

固定負債は7,017百万円となり、前連結会計年度末に比べ647百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金の減少(332百万円)、環境対策引当金の減少(107百万円)、繰延税金負債の減少(97百万円)等によるものです。

純資産合計は53,993百万円となり、前連結会計年度末に比べ530百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(1,572百万円)が、その他有価証券評価差額金の減少(539百万円)及び剰余金の配当(446百万円)等を上回ったことによるものです。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	(平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
完成工事高	54,639	61,235
完成工事原価	48,020	53,986
完成工事総利益	6,619	7,248
販売費及び一般管理費	5,034	4,866
営業利益	1,585	2,382
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	118	139
受取保険料	96	94
為替差益	40	—
その他	18	21
営業外収益合計	281	262
営業外費用		
支払利息	82	71
支払保証料	3	6
為替差損	—	22
その他	8	8
営業外費用合計	93	109
経常利益	1,772	2,535
特別利益		
固定資産売却益	1	1
独占禁止法関連損失 引当金戻入益	—	47
特別利益合計	1	49
特別損失		
減損損失	5	—
固定資産除却損	10	1
投資有価証券評価損	5	17
ゴルフ会員権評価損	0	2
独占禁止法関連損失 引当金繰入額	113	—
特別損失合計	136	20
税金等調整前四半期純利益	1,637	2,563
法人税、住民税及び事業税	537	405
法人税等調整額	160	573
法人税等合計	697	978
四半期純利益	939	1,585
非支配株主に帰属する 四半期純利益	8	13
親会社株主に帰属する 四半期純利益	930	1,572

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第1四半期連結累計期間より、「少数株主損益調整前四半期純利益」を「四半期純利益」、「少数株主利益」を「非支配株主に帰属する四半期純利益」、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	(平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	3,965	△ 2,204
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 190	△ 234
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 115	△ 424
現金及び現金同等物に 係る換算差額	32	△ 35
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	3,692	△ 2,899
現金及び現金同等物の 期首残高	24,598	24,358
現金及び現金同等物の 四半期末残高	28,291	21,459

POINT 四半期連結損益計算書

完成工事高は、前年同四半期連結累計期間比6,595百万円増の61,235百万円となりました。

完成工事総利益は、前年同四半期連結累計期間比629百万円増の7,248百万円となりました。

営業利益は、完成工事総利益が増加したことを受け、前年同四半期連結累計期間比797百万円増の2,382百万円となりました。

経常利益は、前年同四半期連結累計期間に生じた為替差益40百万円が、当第2四半期連結累計期間においては、為替差損22百万円に転じたものの、営業利益の増加及び受取配当金139百万円等が発生したことを受け、前年同四半期連結累計期間比762百万円増の2,535百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増加に加え、特別利益として、独占禁止法関連損失引当金戻入益47百万円等を計上し、法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額及び非支配株主に帰属する四半期純利益を控除した結果、前年同四半期連結累計期間比641百万円増の1,572百万円となりました。

POINT 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は2,204百万円(前年同四半期連結累計期間は3,965百万円の資金の増加)となりました。主な要因は、仕入債務の減少等の資金の減少要因が、税金等調整前四半期純利益の計上、売上債権の減少及び未成工事受入金の増加等の資金の増加要因を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は234百万円(前年同四半期連結累計期間は190百万円の資金の減少)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は424百万円(前年同四半期連結累計期間は115百万円の資金の減少)となりました。主な要因は、短期、長期借入金の返済による支出及び配当金の支払額が短期、長期借入れによる収入を上回ったことによるものです。

発行株式数及び株主数

- 発行可能株式総数 80,000,000株
- 発行済株式の総数 45,963,803株
- 株主数 3,622名

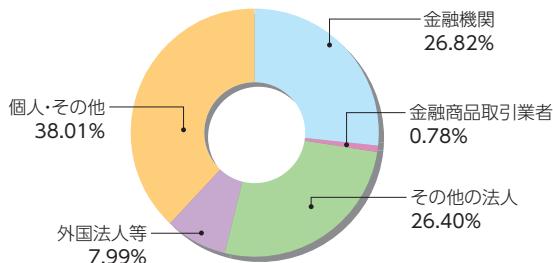
大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東京大元持株会	1,954	4.38
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,947	4.36
有楽橋ビル株式会社	1,826	4.09
大阪大元持株会	1,693	3.79
HSBC BANK PLC-MARATHON VERTEX JAPAN FUND LIMITED	1,680	3.76
ダイダグン従業員持株会	1,507	3.38
三信株式会社	1,118	2.50
名古屋大元持株会	1,112	2.49
株式会社みずほ銀行	959	2.15
株式会社三井住友銀行	954	2.14

(注) 1. 当社は、自己株式1,365,690株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は、自己株式1,365,690株を控除して計算しております。

所有者別分布



会社概要

社名	ダイダグン株式会社
英文社名	DAI-DAN CO., LTD.
創業	明治36年3月4日
設立	昭和8年10月10日
所在地	<本店・大阪本社>大阪市西区江戸堀1丁目9番25号 <東京本社>東京都千代田区富士見2丁目15番10号
資本金	4,479,725,988円
事業内容	電気工事、空調工事、水道衛生工事の設計、監理、施工並びにこれらに関連する事業
従業員数	1,508名

役員一覧 (平成27年12月1日現在)

代表取締役会長兼最高経営責任者	菅 谷 節
代表取締役社長執行役員兼最高執行責任者	北 野 晶 平
取締役専務執行役員	藤 澤 一 郎
取締役専務執行役員	太 田 隆
取締役常務執行役員	櫻 井 丈 士
取締役執行役員	吉 田 一 也
取締役執行役員	荻 野 憲 雄
取締役執行役員	古 新 亮 英
取締役執行役員	池 田 隆 之
取締役	吉 田 宏
取締役	松 原 文 雄
常勤監査役	櫻 木 修 一
常勤監査役	安 東 憲 二 郎
監査役	土 川 章
監査役	北 村 八 朗
上席執行役員	平 井 政 志
上席執行役員	清 水 登
執行役員	河 久 保 弘 和
執行役員	西 内 義 充
執行役員	逢 坂 美 智 勝
執行役員	大 津 久 男
執行役員	大 岩 崎 正 裕
執行役員	大 張 秀 夫
執行役員	三 好 繁 章
執行役員	坪 田 具 也
執行役員	北 村 広 外 志
執行役員	田 中 克 典
執行役員	立 石 知 己
執行役員	力 石 和 彦
執行役員	高 比 良 満
執行役員	道 端 順 治

(注) 1. 取締役のうち吉田宏、松原文雄の両氏は、社外取締役であります。

2. 監査役のうち櫻木修一、北村八朗の両氏は、社外監査役であります。

光と空気と水を 生かす

ダイダンは、
建物の電気設備、空調設備、
給排水衛生設備を
トータルにコントロールして、
快適空間を創造します。

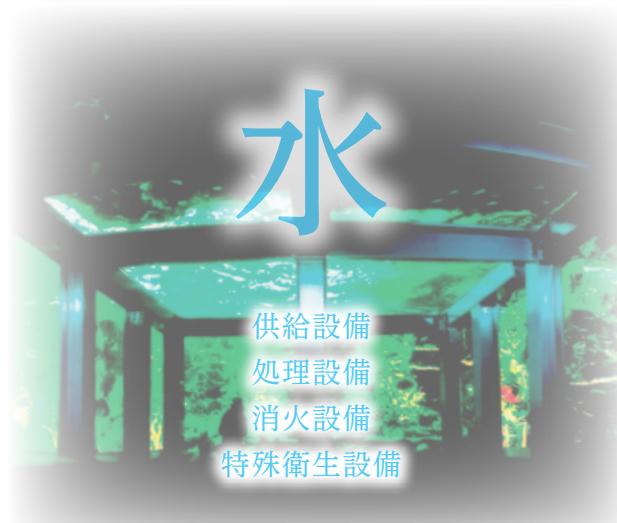
電気設備



空調設備



給排水衛生設備



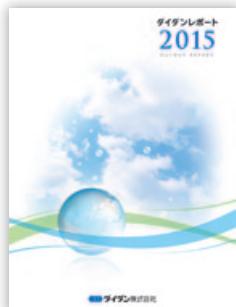
ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR情報をはじめとして当社の各種情報を公開しておりますのでご覧ください。



<http://www.daidan.co.jp/>

「ダイダンレポート2015」を発行



当社の事業活動やCSR活動に加え、財務・非財務データを盛り込んだ統合的な企業レポート「ダイダンレポート」は、下記のウェブサイトよりダウンロードが可能です。

ダイダンレポート2015

<http://www.daidan.co.jp/csr/report.html>

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
1単元の株式の数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告により行います。 当社ホームページに掲載いたします。 (http://www.daidan.co.jp/finance/koukoku/index1.html)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部

UD
FONT



ダイダン株式会社

〒550-8520
大阪市西区江戸堀1丁目9番25号
電話 (06) 6447-8000